

## リーグ改革について

現在、1部4校リーグ（グローバルアリーナ）、2部から4部の4校リーグ、5部トーナメント形式で行っていますが、2021年度よりリーグのさらなる活性に向けてこれから改革をしようと考えています。ただし、2020年度九州学生リーグは基本現行のまま行います。

### 【提案理由】

- ・ 少子化に伴い、現行の女子4部リーグが2年連続（2大学）、女子5部トーナメント（4大学）開催となっているから。
- ・ 新設大学及び新設テニス部の上位リーグ昇格機会を増やすため。

### 提案1

現行) リーグ5部制

男子・女子1部リーグ：4大学  
男子・女子2部リーグ：4大学  
男子・女子3部リーグ：4大学  
男子・女子4部リーグ：4大学  
男子・女子5部トーナメント



提案) リーグ3部制

男子・女子1部リーグ：6大学  
男子・女子2部リーグ：6大学  
※現行1部～3部リーグを2部リーグ制へ  
男子・女子3部トーナメント  
※現行4～5部を3部トーナメントへ  
※男子3部トーナメント：13大学  
※女子3部トーナメント：6大学

入れ替え戦4対戦

男子・女子入れ替え戦1部—2部  
男子・女子入れ替え戦2部—3部  
男子・女子入れ替え戦3部—4部  
男子・女子入れ替え戦4部—5部



入れ替え戦

男子・女子入れ替え戦1部—2部  
男子・女子入れ替え戦2部—3部  
※2対戦減へ

・メリット

現行の5部制度では新設テニス部が4年目で最高でも2部までしか昇格できないが、3部制にすることで新設テニス部でも4年間で1部まで昇格することができる。

運営の簡素化による九州学生テニス連盟の人的・経費負担の軽減化

・デメリット

4校リーグだったものが6校になることで大会日数が1日増える。

コート面数が必要となる。

### 提案2

○男子・女子1部、2部、3部⇒現行通り4校リーグ（1部はグローバルアリーナ）

○男子・女子4部、5部⇒合体させて4部トーナメント

・メリット

大会日数は変わらない。

大学数が増え、リーグ活性化

・デメリット

試合数が減る大学が出てくる。

昨年と同様1部は空き日ができて不平等になる。

### 提案3

○男子・女子1部、2部、3部⇒現行通り4校リーグ（1部は鹿児島県立鴨池庭球場）

○男子・女子4部、5部⇒合体させて4部トーナメント

・メリット

1部は16面展開となり大会日数が減る。

・デメリット

1部2部入れ替え戦のために2部優勝校の移動が大変になる。